

教科の目標

- 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 2 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 3 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点

- 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 2 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 3 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ力を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

評価の方法

- ア 授業に取り組む姿勢(説明・発表を聞く、発表する、課題に取り組む等)
- イ 提出物(ノート、レポート、作文等)
- ウ 定期テスト、ワークシート
- エ 小テスト(漢字、スピーチ、暗唱等)
- 以上のことを中心に総合的に評価します。

特色ある学習方法

- ア 個人及びグループによる課題解決学習
- イ 図書及びタブレット端末を活用しての調べ学習
- ウ 学年の発達段階に応じた表現活動
- エ 学習プリントの活用
- オ その他視聴覚教材の活用 等

	教材名	学習のねらい
一 学 期	朝のリレー 野原はうたう シンジュン 情報を整理して書こう 書写(硬筆) 漢字1 ダイコンは大きな根? ちょっと立ち止まって話の構成を工夫しよう 文法への扉1 情報を集めよう 詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 言葉1 言葉を集めよう	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の特徴を生かして朗読する。 ・声を届ける工夫をして朗読する。 ・登場人物の関係の変化をとらえる。 ・情報を収集し整理する。 ・字形・運筆・点画を理解する。 ・漢字の組み立てと部首について理解する。 ・段落の役割に着目して内容を捉える。 ・段落のまとまりに着目して要旨を捉える。 ・伝えたいことを明確にして話の構成を考える。 ・言葉の単位と文節区分を理解する。 ・情報の活用方法を身につける。 ・表現の効果について考える。 ・比喩を理解し言葉についての考えを深める。 ・指示する語句と接続する語句を理解する。 ・「伝わる」表現について考える。
二 学 期	大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに 聞き上手になろう 項目を立てて書こう 言葉2 漢字2 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 根拠を示して説明しよう 話題や展開を捉えて話し合おう 大阿蘇 いろは歌 古典の世界 蓬莱の玉の枝 今に生きる言葉 「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 文法への扉2 書写(毛筆)	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情の変化を捉える。 ・比喩を理解し内容を想像して読む。 ・考えを引き出す質問法を身につける。 ・情報整理のしかたを理解する。 ・言葉の特徴や役割を理解する。 ・音訓の性質や歴史を理解する。 ・根拠を明確にして考える。 ・他の資料を引用して説明する。 ・話題や展開を捉えて話し合う。 ・言葉の響きやリズムを味わう。 ・七五調のリズムを味わう。 ・古典学習への見通しをもつ。 ・古典文学に親しむ。 ・故事成語について理解する。 ・筆者の主張を要約する。 ・相互評価をして助言し合う。 ・文節どうしの関係を理解する。 ・字形・運筆・点画を理解する。
三 学 期	少年の日の思い出 文法への扉3 構成や描写を工夫して書こう 言葉3 漢字3 一年間の学びを振り返ろう さくらの はなびら	<ul style="list-style-type: none"> ・読みを深め、語彙を豊かにする。 ・単語の分類を理解する。 ・構成や描写を考えて書く。 ・表現技法の特徴と効果を理解する。 ・漢字の成り立ちを理解する。 ・国語を学ぶ意義を考える。 ・作者の思いについて考える。